

保健だより

《新型コロナウイルス感染症予防》

新型コロナウイルス感染症は、一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどがなくても感染を拡大させるリスクがあります。症状は、発熱や呼吸器症状が1週間前後つづくことが多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多くなっています。感染予防のためには、ソーシャルディスタンス（他者から1m以上）を保ち、マスクを着用し、室内換気を行い、手洗い、消毒を行いましょ。発熱、咳、呼吸困難などの症状がある場合は、必ず医療機関を受診しましょう。

《インフルエンザ予防》

インフルエンザは、インフルエンザウイルスによって引き起こされる呼吸器感染症で、風邪に比べて症状が重く、急激に症状が出てきます。症状も全身に倦怠感が現れるのも特徴です。感染予防のためにも日々の「手洗い」「うがい」「消毒」「マスクの着用」の感染対策を行いましょ。

《感染性胃腸炎予防》

感染性胃腸炎は、腹痛、下痢、吐気、嘔吐が主な症状として現れます。しかも、突然発症するのが特徴です。感染を防ぐためには、やはり「手洗い」「うがい」「消毒」です。しっかりと実施して、感染対策を行いましょ。

通所リハビリ通信

朝晩の寒さが厳しい季節となりました。皆様におかれましては風邪などひかずお過ごしでしょうか。現在通所リハビリでは、コロナ禍で外出行事が行えていない状況が続いておりますが施設内でも喜んでいただける内容を考えてながら、日々レクリエーションや行事の提供に努めております。

また、通所リハビリでも新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症の流行に備え、今まで通り、気を抜くことなく感染予防対策を徹底して、通所リハビリのご利用にあたり、これからも、ご利用者やご家族に安心して頂けるよう努めてまいります。

毎年恒例として通所リハビリのご利用者を対象に顧客満足度調査を行いました。その結果、励ましのお言葉だけでなく厳しいご意見も頂く事ができました。それら貴重なご意見を参考に、法人理念である「良質な医療と福祉」「明るくさわやか」「健全経営」「職員の資質の向上」を改めて実施するとともに、通所リハビリにおいてのサービスの質及び職員の質の向上にも努めてまいります。そして、これからも地域の皆様へ選ばれ喜ばれる通所リハビリとなるよう努めてまいります。



行事：マジックショー



行事：夏祭り



施設車両の消毒

大田原市在宅介護支援センター椿寿荘

在宅介護支援センターは、介護の悩み相談窓口です。ご本人やご家族が、その人らしく、住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、ケアマネジャーがケアプランを作成し自立に向けて支援しています。

在宅介護支援センター椿寿荘は、初回訪問時は、ケアマネジャー2人で自宅にお伺いし、担当ケアマネジャーが不在の時でもスムーズに対応できる体制をとっています。不安なことなど些細なことでも構いません。お気軽に相談していただき一緒に考えていきましょう。

ホームヘルプステーション椿寿荘

訪問介護は出来る限り自宅に住み続けるように支援するサービスです。

椿寿荘を退所後、安心して住み慣れた自宅で生活が続けられるように、顔なじみの「椿寿荘ヘルパー」が支援させていただきます。

ご家族と同居の方は、おむつ交換や清拭など介護方法をお伝えします。入浴の支援中は腰巻を使用しプライバシーに配慮しています。また、一人暮らしの方へは、買い物や洗濯、美味しい料理など一人暮らしが続けられるよう支援します。ご利用については担当のケアマネジャーにご相談下さい。



編集後記

広報つばき第45号をお読みいただき、ありがとうございます。昨年は、新型コロナウイルスによって大きな試練にさらされた1年でした。また、昨年末頃から新変異ウイルス「オミクロン株」が世界中で報告されており、今年もしばらくの間は新型コロナウイルスとの闘いが続くと思われていますが、日々の感染症対策やワクチン接種「ブースター接種」などにより、この危機的状況を乗り越えられることを信じています。ご利用者様とご家族様及び地域の皆様にとっても、新年が明るく健やかな1年でありますように祈念致します。

広報委員長：内藤 仁

医療法人大田原厚生会 椿寿荘だより



『つばき』第45号

発行日 令和4年1月26日
発行所 椿寿荘広報委員会
大田原市末広1-2-5
☎0287 (23) 8880
HP <http://www.tinjusoh.jp/>
題字 理事長 室井 尚武

1階療養棟紹介

椿寿荘は、回廊式の建物で、1階療養棟では、中庭を取り囲むように4人部屋の多床室が11部屋と個室が1部屋あり、ショートステイを含め45名のご利用者が療養できる環境になっています。北側には、レクリエーション活動を行ったり食事を摂るスペースの食堂があり、東側にはリハビリテーションルームがあり、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士のリハビリの専門職が中心となってリハビリを行っています。建物の中庭では、季節ごとの花を植えて屋内の廊下からでも楽しめるように工夫しています。

令和3年12月の時点で看護職員5名、介護職員15名が在籍しており、介護老人保健施設の職員として、在宅復帰にむけた日々の療養生活をリハビリの機会と捉え、ご利用者に寄り添いながら、1日1日を大切にケアを提供しています。また療養棟では、安全安楽な入浴が提供できるよう、ご利用者一人に付き一人の介護職員が入浴の最初から最後までを担当させて頂いています。日々のレクリエーションは、コロナ禍の取組みの一つとして、ソーシャルディスタンスを保つために、ホールに設置されている大画面のテレビを使用し、「歌体操」「言葉遊び」「クイズ」などを行っており、最近になり、ようやく、「もの送りゲーム」「風船バレー」などご利用者同士が集まって行うレクリエーションも楽しめるようになってきました。ご利用者の心身の健康維持のために、看護職員が中心となり毎日の検温や健康観察を行い、ご利用者が安心できる療養生活のサポートをしています。療養棟に潜む様々な危険も少なくできるよう、少しでも気になった事案があれば、ヒヤリハット報告として職員が作成し、療養棟全体で危険防止の為の対策案を検討し、改善策の立案とその実施を繰り返し行いながら、それ以上の大きな事故が起こらない様、職員の行動や環境作りによって危険を軽減できるよう、日々取り組んでいます。

コロナ禍で直接のご面会を制限させて頂いている中、私達1階療養棟の職員である看護、介護職員は、ご利用者の心身の機能回復に向けて、またそれらが在宅復帰に繋がり、ご利用者の喜びとなるように、ケアマネジャーや療法士、歯科衛生士など、他の専門職と共に多職種協働で、ご利用者の尊厳の保持に努めながら、安全で安楽な療養生活が送れるよう、専門職としてのケアを行っていきます。



1階療養棟でのリハビリテーションの様子



療法士による個別リハビリ



集団のリハビリ



新入職員紹介



介護職 古森 雄司 令和3年5月入職

令和3年5月から、椿寿荘で働くことになりました古森雄司と申します。以前にも、介護の仕事（デイサービスやグループホーム）で5年ほど働き、そこで初めて介護の仕事を経験して、ご利用者に笑顔になって頂く事への喜びを感じ、この仕事が好きになりました。椿寿荘のような大人数のご利用者がある施設は初めてですので、至らないところもあるかと思いますが、精一杯のおもてなしの心でご利用者を笑顔にして行けたらと思っています、よろしくお願い致します。

入所1階「お花見」



和菓子の桜、美味しそう☆



桜の前で良く撮れました。



通所リハビリ「お花見」



皆で作った桜が咲きました



入所2階「観藤会」



手作り「藤の花」です。



お花がいっぱい取れました



折り紙で桜作成中

入所1階「おやつ会」



おいしゅうございます♡



「おかわりある?(笑)」

入所2階「運動会」



首かけ輪投げ＼(^o^)/



くす玉割り、頑張るぞ!



通所リハビリ「園芸」



この花きれいだね!



その辺でいいかな

入所1階「甘味祭」



甘味祭を行いました。



七夕の短冊を作ります



「願い事」叶うかな?



素敵な
ティッシュカバーですね



通所リハビリ「工作レク」



「あーん♡」美味しい♡



何色のお花がいいかな～?



入所1階「夏祭り」



「えいっ!」
スイカ割り。



射的の景品どれ取ろう☆

入所2階「夏祭り」



夏祭り「輪投げ大会」



通所リハビリ「夏祭り」



必ず的に当ててみせるわ!



子供の頃を思い出すわ～

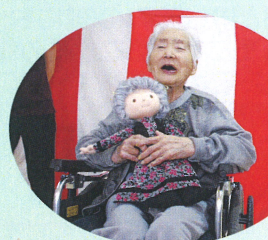


大当たりかな～?

入所1階「箱の中身は何?ゲーム」



「箱の中身なんだろう?」



「お人形は難しいよ」



夏の厄落としm(_ _)m

入所2階「夏越しの祓い」



☆手作りのお守りです☆



通所リハビリ「おたのしみ会」



コーラが浮いてる!?



私は誰でしょう?

入所1階「敬老会」



祝☆敬老☆
皆様、おめでとうございます。



「めでたいね(笑)」



通所リハビリ「お楽しみ会」

「貧乏神と福の神」の
人形劇を行いました



敬老の日おめでとうございます(^_^)



入所2階「敬老会」



いつまでもお元気で!!

